

# CHOHO



長崎大学広報誌【長報:チョーホー】

2003年1月 (年4回発行)

Winter

特集

## 放射線医療科学 国際コンソーシアム

世界最高水準の研究拠点をめざして



#### 【長報:CHOHO】について

広報誌「CHOHO」の名前は、長崎大学工学部社会開発工学科3年伊藤英孝君のアイデアで、「長崎大学広報」の最初と最後の文字をとった「長報」を、広報委員会広報誌企画・編集専門委員会でローマ字表記としたものです。

#### 【表紙】について

「マチエール」 浦川 亜津子  
大学院教育学研究科(絵画領域)

和紙・新聞紙・アクリル絵具・ペンキなどを材料に、コラージュ(貼付け)で表現した作品です。「色のついた物質ならば、私にとって絵具になり得る」という作者。以前はコラージュではなく油絵を通してマチエール(画肌)を追求していましたが、いつしか絵画に対する認識と表現方法が変化し、今では「“接着”を中心とした制作を行いながら、自分の中の“絵画”を見つめていきたい」と言います。

日々、模索を続けながら成長していく若きアーティスト。CHOHOもまた紙面の充実を図るべく日々努力を続け成長してまいります。





# COLUMN

【学長コラム】第1回

## 高校生諸君!

長崎大学長  
齋藤寛



新年おめでとうございます。

昨年十月の「CHORO」創刊号はいかがでしたが、皆様のご意見をどうかお寄せ下さい。

さて、本号から「学長コラム」を書くことになりました。「CHORO」はひろく市民の皆様にも長崎大学を知っていただくためのものですが、私はこのコラムをとくに高校生の皆さんにむけて書くことにしました。私は高校生諸君にこそこの広報誌を読んでもらいたいと考えています。

「大学で仕事をする」というと、皆さんはすごく刺激的な毎日が続くと思うかも知れませんが違います。ノーベル賞級の学者のいる研究室でも「毎日、同じことのくり返し」なのです。でも、これが大切なのです。

毎晩二時間数学の問題に取り組み受験生がいるように、またサッカーの部活で新しいフォーメーションをものにしようと繰り返し練習するように、「繰り返しはげむこと」が大切なのです。

地球温暖化が明らかになったのはハワイでの長年の大気中炭酸ガス測定が発端です。学問・研究に必要な能力は「やる気」と「ねばり」です。「やる気」は好きなことをするとき生まれます。音楽やスポーツとまったく同じです。

今回から長崎大学の研究を紹介します。「面白いなあ、やってみたいなあ」と思う研究があったら、その先生がいる学部に入ってください。それだけで貴君は世界一流の研究者になれる資格十分です。長崎大学はそういう貴君を歓迎します。

HIROSHI SAITO

### CONTENTS

- P01 【特集】放射線医療科学国際コンソーシアム  
世界最高水準の研究拠点をめざして
- P06 【学内探訪】水産学部附属練習船「長崎丸」
- P08 【長崎学—歴史・民俗—】渡り来た「こころ」のかたみ
- P10 【いいたか放題】林田 繁和さん
- P11 【健康生活】うつ病
- P12 【地域交流・国際交流】日本と世界が学び合う日本語教育 【留学生のお国自慢】ペラルーシ
- P14 【教育のひろば】AO入試
- P16 【幕末・明治期日本古写真コレクション 明治ジャパネスク】長崎駅
- P17 【インフォメーション】・【編集後記】



# 放射線医療科学 国際コンソーシアム

世界最高水準の研究拠点をめざして

International Consortium for Medical Care  
of Hibakusha and Radiation Life Science

昨年秋、長崎大学にうれしいニュースが入った。

文部科学省の「21世紀COEプログラム」に

当大学の研究テーマ「放射線医療科学国際コンソーシアム」が選ばれたのだ。

全国の大学がこぞ申請した中から認められたとあって、

担当の先生らの喜びはひとしおだ。

今回は、国際的なプロジェクトといわれる

その「放射線医療科学国際コンソーシアム」についてご紹介します。

※コンソーシアム/Consortium・・・「連合」、「協会」を意味する

全国の大学がチャレンジした  
「二十一世紀COEプログラム」

世界最高水準の研究拠点づくりをめざして文部科学省が優れた研究テーマを採択する「二十一世紀COEプログラム」(※以下、「COE」)。第一回目となった昨年は、「生命科学」「化学・材料科学」「情報電気・電子」「人文科学」「学際・複合・新領域」の五分野で、計百十三件の研究テーマが採択されました。選ばれると今後五年間、年間一〜五億円の研究費を国から支援されるという大きなメリットの他、大学のよりよい評価や印象につながるということもあり、どの大学もたいへんな力を注ぎ申請を試みたようです。

長崎大学では今回四分野四件を申請。その中から、「学際・複合・新領域」分野で大学院医歯薬学総合研究科の《放射線医療科学国際コンソーシアム》という研究テーマが選ばれました。

注目・評価される「COE」  
研究の大きな弾みに

《放射線医療科学国際コンソーシアム》を担当する先生方は全部で十名。そのプロジェクトの拠点リーダーを務める朝長先生は申請当初を振り返り、「第一回目と

いうことで選ぶ側の判断基準がよくわからず、採択されるか不安でした」。選ばれたという知らせを聞いた時は、研究に弾みがつくと皆で喜んだそうです。

同じく担当教授の山下先生は、「学外での評価が高く、特に中央の方へ行くと、選ばれたというインパクトは非常に強いものがありますね」と「COE」に対する周囲からの評価の高さに驚いています。

長崎大学では昨年、医学系の大学院医歯薬学総合研究科ができ、その中に世界でもあまり類を見ないという「放射線医療科学専攻」という組織をつくりました。ここが《放射線医療科学国際コンソーシアム》の中核組織です。プロジェクトメンバーの渡邊先生は「この大学院医歯薬学総合研究科を立ち上げた際、すでに世界の拠点になろうと表明していましたが、『COE』に選ばれたことでその一歩を踏み出したと実感しています。同時にその責任の大きさも感じています」。

※1・・・文部科学省「二十一世紀COEプログラム」  
COEとはセンター・オブ・エッセンスの略。卓越した拠点を意味する。文部科学省が、今年度からはじめての事業で、世界最高水準の研究拠点づくりの実現と、大学が競い合いながら研究能力を高めることをめざして選抜し、重点的に資金援助するもの。



細胞を培養しているところ。2人はウクライナ(左)とロシアから来た研究者。すでに国際的な人材の交流が行われている。





朝長 万左男 教授  
Masao Tomonaga

[専門:血液学]  
[研究活動:原爆被爆者医療、白血病誘発機構解明ほか]  
◎COEに向けての抱負/拠点リーダーとしてメンバーの実力と活動が最大限に発揮できるよう、精一杯努力するつもりです。

**国際的なプロジェクト《放射線医療科学国際コンソーシアム》**

《放射線医療科学国際コンソーシアム》

とは一体、どのような研究プロジェクトなのでしょう。これはヘーイギリスのグレイ癌研究所やオランダのライデン大学、アメリカのコロンビア大学、ミシガン州立大学などと連携して国際的な研究を推進する。△▽チェルノブイリやセミパラチンスクなど世界の放射能汚染地域での医療と研究をさらに進める。△▽原爆研究では十分に解明できなかった低線量の放射線の人体への影響を解明する。という、三つのプロジェクトを大きな柱にしています。

またこれらを通して将来、世界で活躍する国際放射線保健医療分野の人材育成も、大きな目的のひとつになっています。

**空から、土から、建物からも放射線はどこにもある**

実は私たちは普段から放射線を浴びているといったら、ほとんどの方は驚かれるかもしれませんが。地球上には「自然放射線」といって、宇宙から降ってくる放射線、地面から出て来る放射線が飛び交っているのです。さらに私たちの身体の中からも放射線は出ているのです。もちろんいざれもたいへん微量ですが、地球上にいる限り放射線を避けるのは不可能で、人は常に被ばくしていることとなります。(※自然放射線により誰でも年間約二・四ミリシーベルトの放射線に被ばくします。)

この他、私たちはレントゲン撮影をする際にもX線という放射線を受けます。また建物の素材によっては微量の放射線を出すものもあります。これらも「低線量被ばく」研究の対象なのです。渡邊先生は「そういった放射線が生体にどのように作用し、それに対し生体はどのように応答するのかを明らかにすることで、生命の基本的しくみを科学的に明らかにしようとしているのです」。

**世界が目にする『低線量被ばく』問題の解明をめざして**

このプロジェクトの大きな課題のひとつとなっている『低線量被ばく』の解明について、簡単に説明します。ここでいう『低線量被ばく』とは、二百<sup>※2</sup>ミリシーベルト以下の低い放射線に被ばくすることをいいます。二百ミリシーベルトといわれてもピンと来ないかもしれませんが。この数値は放射線被ばくのひとつの基準値になっています。二百ミリシーベルト以上の放射線を浴びると明らかに身体に放射線の影響が出ることが統計データでわかっています。しかしそれ以下の『低線量被ばく』の場合は、人体にどのような影響があるのかまだ解明されていないのです。「原爆被爆者の問題や原子力発電所の事故など、人類をとりまく放射線の問題はたくさんあり、世界的にも非常に注目されているのですがね」という朝長先生。この課題の解明の難しさが伝わって来るようです。



山下 俊一 教授  
Shunichi Yamashita

[専門:内分泌学]  
[研究活動:国際被ばく者医療・疫学、甲状腺がん発症機構解明ほか]  
◎COEに向けての抱負/世界の放射能汚染地域で我々が果たすべき役割はたくさんあります。それを研究にもつなげていきたい。

**世界の放射線被ばく地では低線量の被ばく者が多いという事実**

山下先生の研究グループは地道なフィールド研究により、ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所の事故による地域住民の被ばくや、カザフスタンのセミパラチンスク地区の核実験による住民の被ばくでは、「低線



チェルノブイリやセミパラチンスクから送られて来る画像で遠隔診断をしている山下先生。99年より行われており診断実績は1,000例を超える。

※2……「低線量被ばく」の基準値は、百ミリシーベルトという考えもある。





## 放射線医療科学 国際コンソーシアム

「放射線医療科学国際コンソーシアム」は、長崎大学を中核として、世界各地の被ばく地でのフィールドワーク(e,f,g)から得た成果と、世界の研究室(a,b,c,d)の試験管の中から出て来た研究を統合して進められる大規模なプロジェクト。人と知のダイナミックな交流により世界最高水準の研究拠点をめざす。

量被ばくの方が大部分を占めることを明らかにしています。

これらの地域では、それぞれ数十万人規模の低線量被ばく者集団が生まれていますが、「本場に放射線の問題を説明するためには、長崎原爆被爆者の方々の研究はもちろん、そういった世界の被ばく地域の被ばく者集団も含めた広い範囲で見に行く必要があるのです」と朝長先生。真実を明らかにするために世界規模で調査・研究を行う。それが《放射線医療科学国際コンソーシアム》の根本理念になっています。

「正しく怖がる」ためにもっとも必要なのは、教育の充実

本来はたいへん身近な存在でもあるのに、放射線に対して多くの人が「よくわからないもの」、「とても怖いもの」といったイメージを持っています。とりわけ被爆地長崎・広島は、実際に原爆による放射線

の恐ろしさを知っていますから、怖いと思うのは当然です。

しかし放射線医療の現場には「正しく怖がる」という言葉があります。朝長先生は「一般の人が、わかりづらい放射線の問題を今後、わかりやすく伝達していくことが我々科学者の使命だと思うのです」と強調します。そしてその正しい知識を伝達していくために、若い人たちへの放射線の総合的な教育にも積極的に取り組んでいく必要があるのです。

渡邊先生も「教育の充実が絶対的に必要。《放射線医療科学国際コンソーシアム》で、世界が同じレベルで放射線とはどういうものかを教えるシステムをつくっていかれたらと思っています」。

「人にも病気にも国境はない」  
世界の放射線被ばく地から

山下先生は、「東西冷戦構造崩壊後の



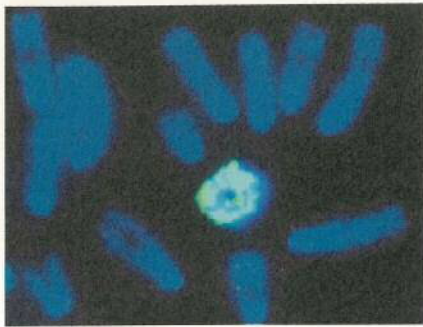
渡邊 正己 教授  
Masami Watanabe

[専門:放射線生物学]  
[研究活動:低線量細胞応答、染色体不安定性解明ほか]  
◎COEに向けての抱負/放射線の正しい知識を伝えるリーダーを育てたい。

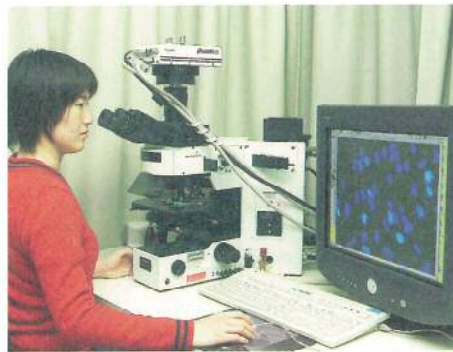
時代の流れの中で、世界中が同じような認識で仕事ができるようになりました。ただこの分野には長崎と広島にしかできないことがあります。チエルノブイリでの原子力発電所の事故後、世界各国が現地に支援や調査に出向きましたが、本場に被ばく者の心を理解して仕事できたのは原爆被爆地の我々長崎と広島だけ。相手もそれを認識して接してくれます」。

世界の放射能汚染地域は、社会や経済のインフラが整っていないことが多く、現地での活動がスムーズに行かないことが多いといえます。「現場は本場にたいへんです」。さらに「長崎にいる原爆被爆者に起こったことも、世界各地の被ばく者に起こったことも我々にとっては同じつながりの中にある患者さんです。人にも病気にも国境はないのです。そういう感覚は非常に重要で、それを教えられるのも長崎や世界の被ばく地しかない」と山下先生はいます。「《放射線医療科学国際コンソーシアム》は学際・複合・新領域の分野です。つまり医学を越え、国境を越えて学ぶ学問。さまざまな研究分野の境界線をなくしていくという領域なのです。そういう意味で非常に長崎に適した冠をいただいたと思っています」。





試験管の中で、放射線を浴びて誘導された染色体の異常。  
(写真中央の丸い部分)



蛍光物質を使って染色した細胞を見るシステム。たとえばそのままでは見えない細胞の中のDNAも蛍光物質で光らせることで見える。(放射線生物学研究室)



関根 一郎 教授  
Ichiro Sekine

[専門:消化管病理学]  
[研究活動:長崎原爆被爆者疫学、国際放射線被ばく疫学ほか]  
◎COEに向けての抱負/原爆による発がんの実態に迫る研究をめざしたい。



新川 詔夫 教授  
Norio Niikawa

[専門:ゲノム医学]  
[研究活動:放射線応答遺伝子探索]  
◎COEにおける役割/分子遺伝学の専門家の育成など



奥村 寛 教授  
Yutaka Okumura

[専門:放射線生物学]  
[研究活動:被ばく線量測定、放射線細胞応答]  
◎COEに向けての抱負/放射線被ばくで生じるDNA遺伝子の障害を修復する酵素の性質を明らかにしたい。



近藤 宇史 教授  
Takahito Kondo

[専門:病態医化学]  
[研究活動:放射線応答・細胞障害機構解明、放射線発がんほか]  
◎COEに向けての抱負/1. 病気の分子病態学としての放射線障害の研究。2. 放射線による酸化ストレス応答因子とドックス制御の機構解析。

### 「放射線生命科学」という新しい領域へのチャレンジ

放射線生命科学という新しい学問の領域を追求している渡邊先生は、「宇宙・地球にあるものはすべてアトム(原子)でできています。そのルーツを探ると皆、原子エネルギーなんです。ですから地球上に生命が発生してから三十六億年といわれていますが、生物はずっと放射線の影響を受け続けてきたのです。生物が、今、生き残っているのは、なんらかの仕組みを上手に使ってうまくつきあつて来たからとも言えるのです」と放射線と生命は密接な関係にありそれをはっきりさせることが、これから人が健やかに生きていくために必要だと言います。「そのメカニズムを調べていくと、生き物がどうやって生きているのかということに解答を与えることもなると私達は考えています」。

まだ一般にはほとんど認知されていま

せんが「放射線生命科学は夢のある学問で、かつ生命の根源に迫るものなのです」という渡邊先生。この研究はがんの新しい治療法の開発にもつながる可能性を秘めています。

### 脈々と受け継がれる原爆被爆者集団研究

《放射線医療科学国際コンソーシアム》は長崎大学医学部の原爆後障害医療研究施設、通称「原研」における研究業績に大きく支えられています。「原研」はこれまで長年に亘り、長崎原爆の被爆者集団研究をはじめチェルノブイリ原発事故とセミパラチンスク核実験場周辺地域の被ばく者医療研究を行って来ており、これらの成果が応用されるからです。

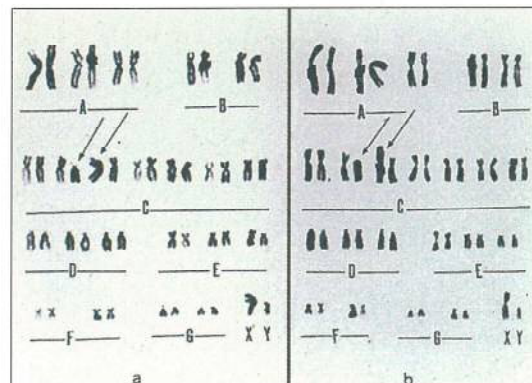
朝長先生は「原爆被爆者集団研究において私は第二世代の研究者です。第一世代といわれるのは昭和二十年代、三十

各国の大学や研究所と連携して研究を展開。今、世界最高水準の放射線医療科学の拠点が、ここ長崎大学に築き上げられようとしている。



遺伝子診断中のお2人は、セミパラチンスク(左)とロシアから来た研究者。セミパラチンスクでは遺伝子の実験はまだできないという。





近距離被爆者に40年後にみられた染色体の異常(矢印)。1945年8月9日の放射線被ばくで生じた傷が長い年月持続している。



**柴田 義貞 教授**  
Yoshisada Shibata  
[専門:放射線疫学] [研究活動:原爆被爆者疫学、国際被ばく者疫学]  
◎COEにおける役割/研究者派遣事業、国際シンポジウム事業。

よく知られているように長崎大学は世界で唯一の原爆被災大学です。一九四五年八月九日、医学部の前身である長崎医科大学では八九七名の学生・職員の尊い命が奪われました。附属病院の診察室で被爆した永井隆博士が一九四五年十二月、当時の長崎医科大学長宛に書いた「原子爆弾救護報告書」の結びには、次のような言葉が記されています。

**長崎大学が切り開く「放射線生命科学」という未来**

年代の研究者。そして山下先生は第三世代の研究者のリーダー格です。このように研究は脈々と継承し続けているのです。研究はそれぞれの時代の影響を受けるもので、たとえば海外へ出て研究ができるようになったのはソビエトとアメリカの冷戦時代後、第三世代の研究者たちからだそうです。



**本田 純久 助手**  
Sumihisa Honda  
[専門:放射線疫学] [研究活動:原爆被爆者疫学、精神的影響解明]  
◎COEに向けての抱負/チェルノブイリ被災者やセミパラチンスク核実験場周辺住民と原爆被爆者との間での放射線被ばくによる健康影響に関する国際比較研究。

『すべては終わった。祖国は敗れた。吾が大学は消滅し、吾が教室は烏有に帰した。余等またそれぞれ傷つき倒れた。住むべき家は焼け、着る物も失われ、家族は死傷した。今更何をいわんやである。ただ願うところは、かかる悲劇を再び人類が演じたくない。原子爆弾の原理を利用して、文化に貢献できるが如くに更に一層の研究を進めたい。転禍為福。世界の文明形態は原子エネルギーの利用により一変するに決まっている。そうして新しい幸福な世界が作られるならば、多数犠牲者の霊もまた慰められるであろう。』

「この研究をすることは被爆大学の使命なのです。それは究極的には世界平和へ貢献するという大学の理念でもありません」と朝長先生。被爆を体験した長崎大学が世界規模の《放射線医療科学国際コンソーシアム》に取り組み原点がここにあります。

原爆については実際に被爆地・長崎へ来



**吉川 勲 教授**  
Isao Yoshikawa  
[専門:放射線遺伝学] [研究活動:環境放射線解析、環境放射線保健]  
◎COEに向けての抱負/世界の放射線生物研究の成果を標準化し長崎から世界に発信したい。

ることで初めてわかることがたくさんあるという山下先生は「世界には優れた科学者がいますが、長崎に来たことがないから原爆のことをよくは知らないわけです。このコンソーシアムを通して、そういった人々を長崎に呼ぶこともできます。海外からの研究者や留学生を教育すると同時に、その素晴らしい世界の科学者達から直接長崎大学の大学院生達が講義を受けることも実現させます」。

「放射線を知る」ということは、日本だけの基準で計ることはできません。しかしながら、これまで放射線についての総合的な教育カリキュラムは日本はもろろん世界でもほとんど作られていなかったのです」と渡邊先生。今、長崎大学はその未知の領域へチャレンジすべく、世界各国の大学や研究所と放射能汚染地域を結び、放射線生命科学の統合拠点という新しい分野を切り開こうとしています。



# 水産学部附属練習船 長崎丸

学内探訪

学生らを乗せ堂々と大海原に行く漁業練習船「長崎丸」。(842トン)

船の位置や進路を確認する方位計。



現在の水産学部附属練習船「長崎丸」は初代から数えて三代目で、昭和六十一年（一九八六年）に就航しました。全長は約六十三メートル、幅十一、四メートル、総トン数八百四十二トン（五十メートルプール約二倍強の大きさ）、航海速度毎時十三、五ノット（時速約二十五キロメートル）です。建造当時は装備・機器をハイテク化し、多目的利用が可能な最新鋭の漁業練習船として造られました。航海計器、漁業計器、操船、海洋観測機器類をコンピュータで連携し、情報の入手の一元化に務め、操船を容易にし、海洋・海底の生物・地質の観察など、高度な調査研究を行うことが可能になりました。

## 就航から十七年目を迎えた三代目「長崎丸」



操舵室  
就航当初はハイテクだった操舵室の航海機器も、今では少々古くなりました。

## 海洋観測や調査研究におおいに活躍中！

例えば、●研究用データ処理装置として、航海・気象・漁業・機関の情報を一ヶ所に集め、必要な時にはとり出せます。●水中カメラによる海底の映像を船内すべてのテレビに放映でき、また学生室での教材提示装置、顕微鏡テレビ装置での映像も、一般テレビと同様に視聴することができます。

●一般の船においては舵とスクリュープロペラによる前後進ですが、本船には前後に横方向のスクリュープロペラを取り付け、複雑な操船を精度よく行うジョイスティックコントロールシステムを装備しており、小さなレバー一本で船の制御が可能です。これにより少々のシケの中でも海洋観測や調査がスムーズに行えるのです。

「長崎丸」に搭載した機器類は、今では少々古いものとなっていますが、観測・調査研究にはまだまだ大いに活躍しています。



ジョイスティックコントロールシステム  
このシステムにより、旋回や横移動など複雑な操船をより精度よく行うことができます。





機関制御室

主エンジンや船内電力を供給する発電機などをコントロールする機関制御室。



学生講義室兼食堂

スクリーンが設けられた講義室は学生の食堂も兼ねています。



サロン

くつろぐための「サロン」もある。清掃がきれいに行き届いています。



トロール操業・揚網

約2時間海底を曳いた網を甲板上にあげ、その後、魚の選別を行います。



学生作業舷実習

ロープ結索の練習をしています。初めてでも上手な学生が多数います。

## 大型漁船の航海士になる 夢を育んだあの頃

ところで、学生・先生等を約四十数名乗せる漁業練習船は、種類としては客船、漁船のどちらでしょうか？ 法律的には漁船です。もっぱら漁業に関する試験、調査、練習に従事する船舶に含まれるものです。就航当時の練習船の学生は、漁業に関する勉強と船の動かし方を学び、将来大型漁船の航海士を目的に励んでいました。乗船した学生は二班に分けられます。通常航海の場合、一班は船橋で四時間毎二回、一日計八時間、位置の確認、操舵、気象観測、見張り等に従事する当直艇があり、他の一班は朝六時三十分より船内外清掃、午前中作業、午後の作業、夜の船内清掃を行って一日が終わる作業艇があります。各班一日交代で船の実習勤務を行います。その他、実習としてトロール実習（漁場は主に東シナ海）、まぐろ延縄実習（当初はインド洋、最近では沖縄南方洋上）、海洋観測実習などが行われます。

## 近年、海洋の資源・環境の調査に重点

近年は二百海里、EEZ（排他的経済水域）の問題で操業海域が狭められ、東シナ海のほんの一部となりました。また乱獲により魚の減少が目立ち、魚を獲ることから、保護し育てる方向に進んでいます。長崎丸の漁業実習は、近年、資源・環境の調査に重点をおくようになりました。また、大型漁船や他の船舶の減少により、航海士を目指す学生の数も少なくなりましたが、その反面、水産学部以外の他学部、他大学の学生・先生で海に興味があり、現場での調査研究を望んでいる人達との共同実習や調査が広く行われるようになりました。

## 他大学との交流が進められる 多彩な調査研究

他大学との交流で最も長く継続しているのが、琉球大学理学部と共同の海底地質の調査実習です。水深約三千メートル

ル付近の堆積物の採泥、海底火山の採石等を行っています。また九州大学農学部とのトロール実習、海洋観測実習の他、近年では共同調査として石垣・宮古島の南西方面や日向灘方面での地震計の設置・回収を行っています。さらに大陸棚斜面における黒潮海流と大陸棚から流れてくる海水との混合の調査、有明海の水質・地質の調査等にも協力しています。今後も「長崎丸」は、学生の漁業実習とともに、漁業資源・環境、海洋、気象等の調査研究を行っていきます。「長崎丸」の一般公開は日時を決めて行ってはおりませんが、三重地区（新漁港付近）多良良に係船している時は、自由に見学にいらして下さい。乗組員が常時在船して居りますので船内をご案内いたします。

【問い合わせ】  
長崎大学水産学部  
附属練習船長崎丸  
Tel 090-3022-2043

【停泊地】新長崎漁港（多良良・沖平岸壁）

【交通アクセス】  
◎「長崎大学前」バス停から長崎バス「瀬戸板の浦行き」に乗車、「あじろ橋」バス停で下車。徒歩15分。







福江島の西側に位置する三井楽町は、自然あふれる美しいところ。古く遣唐使船の停泊地で、当時の伝説や遺跡が多く残されており、「万葉集」や「蜻蛉日記」にも詠まれている。



## 渡り来た

# 「こころ」のかたみ

「長崎学」の彼方へのまなざし

室永芳三（歴史学・長崎大学名誉教授）

ありとだに よそにても見む  
名にし負はば われに聞かせよ  
みみらくの島

道綱母（「けげろ日記」）

平安朝のころ、「みみらくの島」は歌枕になつていました。異界の人の姿が現れるという「みみらくの島」は、肥前国風土記を見ると、「遣唐の使、美祢良久の崎に到り、ここより発船し西を指して渡る」と記してあり、入唐への最後の風待ち港でした。昔は値嘉島とよぶ五島列島の南端福江島の三井楽半島がそれで、多くの遣唐船を入唐させ、帰路へのたしかな指標となった「本国の西の界」だったのです。

唐代小説全体を特色づけている伝奇小説の移入の窓口となった西の最果ての地のことは都にもきこえ、遠い異国の幻想が形成されたおもむきがあります。

開元の初、また使を遣わし来朝す。  
得る所の錫賚（賜物）、  
尽く文籍を市い、海に泛んで還る。

徳国日本（旧唐書・東夷伝）

唐の玄宗の開元五年、第九次遣唐使多治比郎守の一行が入唐しました。その中には留学僧の玄昉、留学生の安倍仲麻呂・吉備真備の姿がありました。なお、この遣唐使船の一行は帰還に際して、玄宗よりの賜物をことごとく書籍と交易して持ち帰ったといえます。

一般にシルクロードからの連想によって、唐とは自由な通交があったと思われれることが多いようです。しかし現実には、唐には書籍の国外への帯出に制限（「書禁」）がありました。遣唐使が大量の漢籍をもたらしたことは事実ですが、どのような書物はもたらし得なかつたのかという観点から見直すと興味深いものがあります。

ともあれ、海を越えて渡り来た文物の相は多様でした。目に見える「もの」だけではありません。そこには「ひと」の交渉もあります。さらにいえば、「もの」にも「ひと」にも、無形の精神的背景がついてまわります。熱情や感銘など、さまざまの内面的な「こころ」です。この問題は実証資料がただ難しいのですが、全体として極めて複雑な様相を呈しています。

天平八年八月庚午。  
入唐の副使従五位上中臣朝臣名代等、  
唐人三人・波斯一人を率いて拜朝す。

聖武天皇（続日本紀）

『天平の薨』で知られる第十次遣唐使船は、大使多治比広成、副使中臣名代の一行です。この一行が四船に分乗して帰国の途についたとき、大使広成の第一船に玄昉、吉備真備が乗りました。唐に残る安倍仲麻呂は自分の代りに兼従（下僕）の羽栗吉麻呂親子を乗船させ、望郷詩「天の原」を托したともいわれています。

副使中臣名代の第二船は渡日する異邦人で国際船さながらでありました。戒律の師僧を求め入唐した栄叡と普照の請を容れた唐僧道瓊、学問僧理鏡の要請を受けた波羅門僧菩提僊那・林邑僧仏徹、唐人皇甫東朝・袁晋郷、波斯人李密翳など多彩な顔ぶれでした。

渡日後、道瓊は大安寺に住し、わが国建壇授戒の最初をなしました。菩提僊那



は梵語を伝え、東大寺の大仏開眼供養の導師となり、仏敎が伝授した林邑舞楽と、皇甫東朝・袁晋が伝えた最新の唐楽が儀式で奏されました。ペルシア人李密騎は呪術者として官位をえて活躍しました。

私はいま、仲麻呂の倭従吉麻呂の生涯と、その子羽栗翼のことが非常に気になっています。とくに羽栗翼は、母が唐の女性で、唐に残る母の思いを胸に秘め、一介の書生から内楽正兼待医となり、桓武天皇の側近にまでのぼりつめる生きざまは異彩を放っています。

モデーホ オーモンオーモン

オーデーホ ウンモー

オモンデ オーモンデー

念仏踊り(三井楽町嵯峨島)

五島列島の精霊祭は特異であります。嵯峨島に伝わる作法が中心に、名称も各様に呼ばれていますが、念仏踊りは同系列といわれています。

嵯峨島の盂蘭盆会は、そもその初めは、遣唐使人が不幸にして帰国できなかつた友の霊を慰めるために、中国南部の地方で習ったオーモンデーを霊前に捧げて供養したことによるといいます。長い歲月が、その名も詞の意も遠い亡却の彼方へと押し流していますが、昔の流刑地「遠島」として悲話を残す嵯峨島には、人の悲しみを自分の身に引きつけ同じ思いを有するものとして理解し、語りついでい



嵯峨島の「オーモンデー」。中国南部地方から伝わったといわれる念仏踊りで、毎年お盆に行われる。踊り手の派手な冠物や、原始的な舞い、唱えられる歌詞には、どこか哀愁が漂う。

うとするまなざしがありました。

踊り手の派手な冠物と原始的な舞いや、歌う唱詞者の哀調をおびた息づかいは、一種言いがたいもの悲しさで、こちらの胸にしみ入ってきます。——これは昨年の夏、私が体感した渡り来た「ころ」の鮮烈なかたみでありました。



## 「長崎学」

最近、日本中どこに行っても同じような建物や町並みといった印象をもってしまう。そんな中、「長崎の印象は？」と尋ねれば、多くの方から「異国情緒あふれるまち」とのことえが返ってきます。それだけ、長崎には人々を魅了する何かがあるのでしょ。

「異国情緒」ということばの響きからは、鎖国時代に「出島」から入ってきた西洋文化をイメージしたり、遣唐使の時代からの中国の文化を連想されたりと、人によつてまちまちですが、歴史的な重みと深みを感じます。長崎には洋の東西を問わず、いろいろな文化が入り込み、それらと日本の文化が溶け合つて、長崎独特の文化を形成して現在に至っております。それらが長崎の魅力を醸し出していることは、疑いようありません。

ここでは、長崎に根づく伝統文化や歴史、あるいは生活様式等、長崎独特の文化について、様々な分野、視点から論じたものを総称して「長崎学」と呼ぶことにいたします。「長崎学」はいわゆる「郷土史」とも異なります。十人いれば、十人の「長崎学」があるのです。

さて、長崎に永年住み慣れた人にとつて、あたりまえと思われれることなかにも意外に知られていないことや、あるいは逆に前から知りたかつたこと、非常に興味をもっていたがなかなか知り得なかつたことなどあるうかと思えます。長崎について、一般によく知られていることも、あまり知られていないことも、様々な側面から眺めてみようというのがこの企画です。

今回初めての企画であり、現在、教育学部の授業科目「長崎学」を担当されている室永名誉教授にご執筆いただきました。室永「長崎学」をお楽しみ下さい。

「長崎学」は、これから機会あることにご紹介したいと考えています。



# いいたか放題

ローカルテレビのニュースでお馴染みの林田さん。  
ちょっとホロ苦い学生時代の夢と挫折とは……。



NBCアナウンサー  
林田 繁和 さん



意外!? 土木工学科出身で  
巨大な橋を設計するのが  
夢でした。

取材先で出身を聞かれ、「工学部土木工学科です。」と応えると、意外に思わらしく驚かれることが多いんです。マスクミで働いているのは文系の人間が多いという先入観があるのでしょうかね。

土木技術者になって巨大な橋を設計するのが私の夢でした。で、その道を挫折したのが大学二年の時。工業数学についていけなくなったのです。何の役に立つのかも分からず丸暗記する「偏微分」や「フリーエ級数」は苦痛そのもの。夢やゴールはあるけれど、なぜ、ここを走っているのか分からない、そんなジレンマを感じていました。

当時は、学問や研究を「理系的なもの」(「文系的なもの」と分け、互いは相容れないという風潮があり、それがすごく嫌でした。美しい橋を設計するために、複雑な応力計算だけでなく、美術面からのアプローチがあってもいいのではないかと思っていたのです。

今でこそ、コラボレーションなどといわれ、複数の大学や学部に入った研究は行われているようですが、大学はもともと学生の抱く「これを学びたい」「究めたい」というニーズに柔軟に答えて欲しい。窮屈な垣根は取り外して、工学部の学生が教育学部の美術関係の研究室で学べたり、医学部の遺伝子研究に携わることができるぐらいの融通があってもいいのではないかと思うのです。

林田 繁和 (はやし しげかず)  
1966年、長崎市生まれ。  
長崎大学工学部土木工学科卒業後、NBC長崎放送へ入社。現在、夕方のニュース番組「報道センター-NBC」で、キャスターとして活躍中。



◆暗い世相を反映して…

近頃、経済不況と言われて世の中何だか暗くなっています。失業率は上がり、職を失わないまでも仕事量が増えて大変だとの声も聞かれます。中高年の自殺が増加しているという警視庁の報告もこのような状況を反映しているようです。

◆急増している自殺やうつ病

先日、長崎新聞で「過労死の労災認定 急増」という記事がありました。「過労が原因の自殺やうつ病などの精神障害の労災認定は、基準を変えていないが、半年間で44件と、昨年度の70件の半分を上回っている。このうち『過労自殺』は未遂を含め20件(昨年度31件)。」ということです。国家公務員も例外ではなく、99年度の「自殺」は138人(14.2%)で、死因別で初の2位となっています(因みに1位は「がん」の46.3%)。

◆うつ病は、“心の風邪”。その症状は?

長崎大学保健管理センターでは、「心の健康相談」を長年実施してきました。利用者のお大半は学生ですが、ここ数年、そのうちの4分の1が「うつ病」あるいは「うつ状態」のために治療あるいはカウンセリングを必要としています。「うつ病」は「心の風邪」とも呼ばれ、誰が罹ってもおかしくありません。生涯にうつ病に罹る確率は5~6%と推定されています。うつ病になると、気分が落ち込み、通常なら楽しいはずの活動への興味や喜びが感じられなくなったりします。また疲労感が増し、夜眠れない、食欲が低下、悲観的になる、自信がなくなる、死にたい気分になる、そして自殺を考え、場合によっては実行してしまうこともあります。

◆罹ったかなと思ったら、休養をとり専門医へ

うつ病になると当然仕事の能率も低下します。しかし仕事を休むと競争からの脱落者の烙印を押されるかもといった不安から、がんばり続けることも少なくありません。特に仕事熱心、几帳面、責任感が強い方は、要注意です。風邪と同じように罹ったかなと思ったら、休養をとりましょう。専門医に掛かり、治療を受けましょう。有効な薬(抗うつ剤)もあります。周囲の人も、焦らず、ゆっくり休ませる配慮をしてあげることが大切です。

# 病氣予防の処方箋 うつ病



何だかいつも疲れてる、夜も眠れないし、食欲もない、買い物もする気にならない…。それってもしかすると、うつ病かも知れません。ストレスの多い現代社会を反映して増えているこの病氣は、“心の風邪”とも呼ばれています。つまりそれほど一般的で誰でも罹る可能性があるので、こじらせる前に、正しい知識で対処しましょう。



自然に親しんだりして、日頃から上手に息抜きするのも大切。

保健管理センター 林田 雅希 助教授

〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL095-844-4292 FAX095-844-4283





世界四十一か国から来た  
留学生のための日本語教育

長崎大学では、二〇〇二年十月七日現在、世界の四十一か国から来た三三八人の留学生が学んでいます。留学生センターでは、これらの留学生に日本語の教育をしたり、勉強や生活の面で援助をしたり、そうした教育や援助を留学生の立場にたつて効率よく行うための研究をしたりしています。また、留学生と日本人学生、地域の方々との交流のお手伝いなどもしています。

長崎大学の留学生の六十二パーセントは大学院レベルの学生です。これらの人たちの多くは、母国で日本語を十分に学習する機会がないまま長崎大学に来ます。



留学生にとって日本語は研究のためだけでなく日本人や他の留学生とコミュニケーションをとるためにも必要なこと。少しでも身につけようと皆、一生懸命です。

それで、各人の必要に合わせて、留学生センターの集中コースや一般コースで日本語を学ぶこととなります。また、日本語学校などで日本語を学んで入学した学部生も、日本人学生と肩を並べて勉強するためには、さらに日本語力を高める必要があります。

集中コースは一週間に十五コマ(一コマ九十分)授業があり、初級・中級段階の学生が毎期(半年)十人前後受講しています。一般コースには初級から上級まで十を超えるクラスがあり、受講生たちはそれぞれの研究室で研究を続けながらこれらのクラスに通っています。受講生は毎期延百人です。

学部(一年生)の留学生のための授業は一週間に四コマあり、新聞記事や書物、テレビ番組などを使って行われています。発表や文章作成などの指導もあります。

教えることで気付かされる  
日本語の難しさ

留学生たちが日本語—特にその基礎—を勉強しようとするとき、日本人が外国語を学ぶ場合と同じように、多くの努力が求められます。文字を覚えること、文の構造(文型)を覚えること、また、その文がどんな場合に使われるかを知ること、たくさん語句を覚えることなどです。

ひらがなやかたかなは、二週間あればほとんどの学習者がマスターしますが、漢字を覚えるのは容易ではありません。どのような漢字をどのような順序方法で学習したらいいかが問題になります。

文型について言えば、例えば、物の存在を表すとき、「机の上に辞書がある」という言い方も「辞書は机の上にある」という言い方もあります。まずこうした文の構造を覚えることが必要ですが、この二つの文型の使い方—どんな場合や文脈で使うのか—の違いも知らなければなりません。

語句では、例えば、「うれしい」と「楽しい」の違いは何でしょうか(中国語やベトナム語が母語の学習者はよく間違えます)。「〜ようだ」と「〜らしい」の違い、「〜てから」と「〜たら」や「〜上で」の違い、等々、この種の問題は無数にあります。

BELORUSSIA

留学生の  
お国自慢  
【ベラルーシ編】

美しい森と湖と、  
徹底的なレディーファーストの国。



Tatiana Rogounovitch  
タチアナ・ログノビッチさん(26才)  
医学部 原研細胞

ベラルーシは東にロシア連邦、西にポーランド、南にウクライナ、北にリトアニアといった国々に隣接。旧ソ連邦では一番西側に位置しています。「ベラルーシは森が豊かで、国は森とその森に住むさまざまな動物たちを保護しています。町中にも多くの木が植えられ、とてもきれい。湖も多く、深いけれども透き通っていて底が見えるほどです」と故郷の森の緑と湖の青に思いを馳せるタチアナさん。

お国の料理について尋ねると「ジャガイモの国なんです。ジャガイモ料理は二十〜三十種類はありますね」。すりおろしたジャガイモを植物油で焼いた「ドラキニ」という郷土料理が代表的です。「お肉は豚肉をよく食べますが、鶏や他の鳥の肉



## 日本語の法則性を探り よりよい教え方を研究・実践

日本語教師はこうした問題に出会う中で、そこにある法則性を探り、教え方を研究し、それを実践するための教材やシステムを作っていくべきです。学習者のかかえる困難も、合理的な手順・方法・教材・システムを用いればかなり軽減され、学習者は少ない労力で短期間に効率的に学習することができそうです。

また、学習者の生活習慣や文化の違いにも注意を払う必要があります。そうした違いをトピックにすることで学習者の発話が豊かになり日本語学習が進むこともよくあります。

留学生センターでは、実践をとおして研究を重ね、この間さまざまな教材を開発してきました。「きょうから話そうー」長崎の生活日本語」「留学生と日本人学生のための会話素材集」「留学生のための日本語作文演習」等々です。また、初級段階から教室外でも日本語を話す機会

を増やすために、会話パートナーのシステムも設けています。そのほか、日本語の授業に日本人学生を参加させているクラスもあります。日本人学生は、留学生との交流をとおして異文化を体験・学習できます。それが自身の視野を広げ大きく飛躍するきっかけとなることは、多くの実例が示しています。

留学生センターの日本語のクラスをとおして、留学生も教員も、また、日本人学生も実に多くのことを学んでいます。



日本文化の世界に親しむ留学生。皆興味津々に楽しんでいます。



日本語の学習に日本人学生も参加。さまざまな国からやって来た留学生とふれあう中で、彼らもまた多くのことを学んでいます。



トウンチュさん(トルコ)、グレンさん(ブラジル)、ファハドさん(サウジアラビア)。3人は専門の研究に役立つようにと、集中コースで日本語を猛勉強中。習いはじめてまだ一ヶ月。「漢字が難しい〜」と嘆いていますが、日本語の授業は「難しいけれど楽しい」とのこと。先日、「日本の伝統文化」の授業で、名曲「さくら〜、さくら〜」に合わせて踊ったのが印象に残っているそうです。

も食べますよ」。うさぎ料理もいろいろあるとか。タチアナさんがおすすめるのはベラルーシ産の蜂蜜。「特に木いちごの花の蜂蜜は最もおいしい。機会があったら是非食べてみて下さい」。

宗教的に厳しいものがなく、禁止されていることは日本の道徳的観念と同じだといふベラルーシ。ただ日本と大きく違うのは男の人が徹底的なレディーファーストだということ。「日本に来て一番驚いたのは電車から降りる時、誰も手を差し伸べてくれなかったことですね」。日本では考えられませんがベラルーシでは当然のマナーなのです。

日本に来て早五年のタチアナさん。日本人に対して「もっと自国の文化や家族を大事にして欲しい」と思っているそうです。



## 留学生センター 教員スタッフ紹介

【センター長】  
松村 功啓 教授



【専任教員】  
宮原 彬 教授



【専任教員】  
高野 泰邦 教授



【専任教員】  
永井 智香子 助教授



【専任教員】  
松本 久美子 助教授



【専任教員】  
守山 恵子 講師







# 教育のひろば

～受験生と、親御さん必見!～

## AO入試 Q&A

長崎大学アドミッションセンター

大作勝先生



近頃、大学入試の話題の中でよく耳にする「AO入試」。それって一体どういうものなのかしら?と首をかしげる人がまだまだ多いのが現状です。そこで今回は「AO入試」にまつわる素朴な疑問に、わかりやすく簡潔にお答えします。



### AO入試とは?

AOはAdmission Office(アドミッション・オフィス)の略。Admissionは「人の入学を許可する」という意味。直訳すると「入学者を審査する事務局」のこと。

#### Q:AO入試とはどのようなものですか?

A: 入学希望者の資質・才能・将来性・意欲などを、主に書類選考と時間をかけた丁寧な面接により、多面的かつ総合的に評価して判定する入学者選抜試験です。

#### Q:一般的なペーパーテストとAO入試との違いは何ですか?

A: 知識の多少を問うだけのペーパーテストでは、人間が持つ多様な能力の一部しか判断できません。それに対してAO入試では、学力検査に過度に依存せず、能力や適性そして将来の可能性まで見通してその人を評価することができます。

#### Q:なぜAO入試を取り入れる大学が増えているのですか?

A: 大学には今、自己の能力を発揮して豊かに生きる、有能な人物の育成が強く求められています。大学が生徒の個性や能力を積極的に掘り起こし、生徒も自分の考えを主張し、表現できるAO入試は、そうした社会の要請に応えようとしているためと思われます。

#### Q:どの大学でもAO入試の考え方や選考基準は同じですか?

A: それは大学によって違います。各大学が選考基準となる理念を示しています。その理念をアドミッションポリシーといいます。

#### Q:アドミッションポリシーについて具体的に教えて下さい。

A: アドミッションポリシーは、どのような学生を育てたいか、どのような学生に来て欲しいかなど、大学がAO入試で求める人物像を示したものです。それはひとつの大学においても各学部学科によって異なることがあります。AO入試を受験する際は、アドミッションポリシーをきちんと理解し、自分自身の考えと合っているかよく考える必要があります。

#### Q:長崎大学のAO入試におけるアドミッションポリシーを教えてください。

A: 長崎大学は「長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する」という理念を掲げ、地域と国際社会の平和的発展に貢献する人材を育てています。そのためAO入試では、多様な才能を持った意欲ある人を求め、選抜します。

### 【各学部学科のアドミッションポリシー】

#### 【教育学部〈学校教育教員養成課程〉】

- ◆現代の学校教育に関心が深く、学校教育への強い志望と適性を持ち、学習・研究意欲が旺盛な人
- ◆将来、学校教育分野に貢献できる人

#### 【教育学部〈情報文化教育課程〉】

- ◆情報化社会、国際化社会および地域の文化開発に積極的に貢献したいという意欲にあふれた人

#### 【経済学部】

- ◆経済に関する諸活動に対する強い関心があり、学習・研究に強い意欲を持つ人
- ◆目標実現のためにねばり強く努力する資質を持つ人
- ◆幅広い内容に柔軟に取り組むことのできる能力と資質を持ち、論理的思考ができる人

#### 【医学部(医学科)】

- ◆十分な基礎学力を持ち、医学・医療に対する目的意識が明確で、責任感が強く協調性と思いやりのある人
- ◆創造的能力・論理的思考力に富み、大学院に進学する意欲を持ち、医学研究者を目指す人

#### 【歯学部】

- ◆十分な基礎学力はもとより、歯科医師や歯科医療の発展、向上に貢献する意欲旺盛な人
- ◆人間性豊かで、物事に積極的に取り組む忍耐強い意志を持ち、自主性と指導性を発揮する人
- ◆自己学習、自己啓発を積極的に実行する意向を有し、学業のみならず、学業以外においても成果をあげてきた人

#### 【薬学部】

- ◆薬学研究者として国際的に活躍したい人で、大学院へ進学し博士号の取得を考えている人
- ◆臨床薬剤師あるいは臨床薬学研究者として医療の現場で、薬学の発展に貢献したい人で、大学院へ進学し博士号の取得を考えている人

#### 【工学部(材料工学科・応用化学科)】

- ◆科学技術に強い関心を持ち、課題解決を目指せる人
- ◆十分な基礎学力と柔軟で論理的な思考を有する人
- ◆人間性豊かで、科学技術を通じた国際社会への貢献に意欲的な人

#### 【環境科学部】

- ◆幅広い基礎的素養と学力を有し、環境科学を学びたいという明確な目的意識を持った人

#### 【水産学部】

- ◆海洋環境、海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持ち、主体的な学習姿勢を持った人
- ◆知識偏重よりも思考能力を重視して、自主性や課題探究能力を育成し実社会で活躍できる人材、海洋研究の国際拠点を目指し国際的な舞台で活躍できる人材の養成を目指すので、幅広い内容に柔軟に対応可能な能力と資質を持った人







**Q:長崎大学のAO入試は、どのように行われますか?**

**A:** 第1次選考で自己推薦書・志望理由書・調査書等の書類審査を行い、志願者のこれまでの活動内容や実績などを多面的な観点から総合的に評価します。  
第1次選考を突破すると第2次選考で課題論文や面接等を行い、より細かく個性や能力、将来へ向けての可能性などを探っていきます。第2次選考でセンター試験を課す学部もあります(現在、医学部と環境科学部)。

◎長崎大学AO入試の流れ



**Q:推薦入試と似ているようですが?**

**A:** 推薦入試と似た要素も多少含んでいますが、①高等学校長の推薦が要らない。②高等学校ごとの推薦枠がない。③多様な側面から評価・判定を行う。以上の相違点があります。

**Q:面接や論文で望まれる態度、考え方はありますか?**

**A:** 自らをプレゼンテーションする場とらえ、どんな能力があるのか、何を考えているのか、何をしたいのか等、自らのことについて積極的にアピールして下さい。

**Q:自分をアピールするために、特別なことを経験する必要がありますか?**

**A:** いいえ、そんなことはありません。課外活動でがんばったこと、学業と両立させたこと、福祉や環境問題について取り組んだ活動、芸術、スポーツなど、ふだんの生活の中で、自分が興味を持って取り組んだことを、わかりやすく伝えて下さい。

**Q:ではAO入試を受験するのに、ボランティア活動をしていた方が有利ですか?**

**A:** 自主的なボランティア活動ならいいのですが、AO入試で評価を得るために行うようでは困ります。特別なことをしなくても、ふだんから豊かで生き生きとした高校生活をおくることが大事です。

**Q:AO入試を受けたら他の入試方法で受験することはできないのでしょうか?**

**A:** そんなことはありません。一般入試や推薦入試など、AO入試以外の方法でも受験できます。

**Q:AO入試を受験するにあたり、何かアドバイスがありますか?**

**A:** 受験しようと思っている学部学科を自分の目で確かめることも大切です。長崎大学が夏に開催する「オープンキャンパス」や各学部学科が主催する「イベント」などに出向き、実際に大学を見て、先輩や先生などと話をしてみることをおすすめします。きっと面白いと感じることや新たな興味に出会い、AO入試へ挑む足掛かりが見えてくるはずです。



■長崎大学アドミッションセンターでは高等学校等において、  
長崎大学の入試に関する説明会を随時行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

**[AO入試に関するお問い合わせ先] 長崎大学アドミッションセンター**

〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL 095-845-6767 FAX095-845-6044

URL <http://www.adc.nagasaki-u.ac.jp/index.html>





# 【NAGASAKI STATION】長崎駅

所蔵：長崎大学附属図書館  
[サイズ縦21.5cm×横27.2cm  
モノクロに彩色]

木造1階建ての駅舎。二重の屋根瓦の四辺も軒下の壁も漆喰でしっかり塗り固められている。当時は駅からの交通手段として人力車が活躍。客待ちの人力車の車夫たちが休憩しているのが見られる(写真左側)。



■ 現在の浦上駅

長崎駅は明治30年7月、当地に開設。その後、長崎港湾埋め立て工事が終わり、線路が延長され明治38年に現在地(尾上町)に新しく長崎駅が開業。その際にここは浦上駅と改称された。



## 終着駅—長崎 (現浦上駅)

現在の浦上駅が終着駅長崎

木造一階建て、寄せ棟式、二重の屋根瓦で四辺も、広い軒下の壁もしっかりと漆喰で塗り固められている。場所は現在の浦上駅で、これが当時の終着駅長崎であった。

九州鉄道長崎駅の開業は、長崎と長崎間が開通した明治三十(一八九七)年七月二十二日のことであった。当時の所在地は現在の浦上駅。当時は浦上山里村字外開である。翌明治二十一年十一月には早岐と大村間が開業され、早岐から佐世保へと繋がった。つまり早岐経由の長崎・門司線が開通したのである。

大野良子著「記憶にのこる明治の長崎」(宝文館出版、一九八八年)の第六章「終着駅浦上」には、祖母につれられて筆者が道の尾駅で下りて岩屋様という脚気の神様にお詣りしたことが記されている。「現在の長崎駅の辺はまだ海で、土地がないので国鉄長崎線は浦上が終着駅であったのである。道の尾から浦上までただ一駅でも家からは遠いので汽車を利用したものらしい。」

岩屋様詣をした後おばあさんと孫の大野さんは、この長崎駅(浦上)から本大工町の家まで人力車で帰ることになる。まさにこの写真は、ここに記されたそのころの駅の風景を写しとどめている。手前には客待ちの人力車の車夫たちが休憩している。

### 世界に誇る、 珠玉のコレクション

写真技術は日本が開国する前後に長崎で確立し、日本全国に伝わりました。当時、日本の写真術の開祖と称される上野彦馬らが活躍。膨大な数の長崎の写真が残されており、長崎は写真史においても重要な場所といえます。

長崎大学が所蔵する「幕末・明治期 日本古写真コレクション」の内容は、主に外国人居留地である長崎・横浜を中心に、東京、京都、大阪、神戸やその他の観光地の風景・風俗・人物などを撮影したものです。その多くは当時の職業絵師により彩色されています。総点数は約6,000点(2002年3月末日現在)。近代日本の生い立ちを研究する貴重な資料として、我が国固有数のコレクションになっています。

このコーナーでは長崎大学が所蔵するコレクションを基にそれにまつわるエピソード等を交えながら紹介していきます。

日露戦争と新長崎駅

明治三十八(一九〇五)年四月五日、長崎港湾埋め立て工事が終わり、台場町まで線路が引かれ、仮駅舎が建てられた。これを新しく長崎駅とし、それまでの長崎駅を浦上駅と改称した。この前年、明治三十七年二月十日は日露戦争勃発の年であり、また出島、新地、梅香崎などの埋め立てが進んでいた時期である。

大野さんは思い出の中にある、その時代をこう記している。「戦争中大陸への軍隊や物資の輸送にどれだけ用いられたであろうか。ポーツマス講和会議を経てこの年の九月十六日に休戦は成立したのであったから」。三菱造船所の迎賓館が「占勝閣」と命名されたのも、与謝野晶子が「君死にたまふことなかれ」と詠ったのもこのころである。

昭和二十年八月九日、この浦上駅は、大正元年に竣工した長崎駅とともに原爆で焼失した。いま浦上駅の交番横に「長崎駅址」の碑があり、裏面に「七十周年記念建立 長崎駅は明治三十年七月二十二日当地に開設され、八年後路線延長に伴い浦上駅と改称された 昭和四十二年七月二十一日 長崎市」と刻まれている。



## 教育訓練講座 「計算機ソフトウェアコース」 受講生募集

工学部では、労働者の職業能力の開発及び向上に資する職業に関する教育として、厚生労働省から教育訓練給付制度の指定対象コースとして認定された「教育訓練講座「計算機ソフトウェアコース」」を開講していますが、現在、平成15年度の受講生を募集しています。

なお、開設コース、期間等は次のとおりですが、詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

開設コース ① プログラミング言語コース

② オペレーティングシステムコース

訓練期間 両コースとも2回開講

平成15年4月～平成16年3月

平成15年10月～平成16年9月

定員 3人/両コース各期

訓練総時間 63時間(通学・昼間)/両コース共通

経費 124,400円/両コース共通

(検定料9,800円、入学科28,200円、受講料86,400円)  
※雇用保険の一般被保険者(被保険期間が通算5年以上)等が受講し、修了した場合に、国から入学科及び受講料の8割に相当する額が助成されます。

申込み期間 平成15年4月～平成16年3月まで開講のもの

→15年2月末まで

平成15年10月～平成16年9月まで開講のもの

→15年8月末まで

工学部事務部(佐藤 専門職員) TEL 095-847-1111 (内線2611)

## 長崎大学管弦楽団 第54回定期演奏会を開催

1 25<sup>+</sup>

日時◎1月25日(土) 開場18時/開演18時30分

場所◎ブリックホール

入場料◎一般1,000円 学生500円

チケットは市内楽器店、有名プレイガイドで発売しています。

## 長崎大学吹奏楽部 第21回定期演奏会を開催

1 25<sup>+</sup>

日時◎1月25日(土) 開場18時/開演18時30分

場所◎長崎市民会館文化ホール

入場料◎前売券300円 当日券400円

チケットは市内楽器店、大学生協で発売しています。

## 「薬学市民講演会」を開催

3 29<sup>+</sup>

日時◎3月29日(土) 14時～17時

場所◎ブリックホール(参加無料)

内容◎講演 ◆くすりの飲み合わせと注意点

◆くすり情報と健康管理

おくすり相談コーナーなども設ける予定です。

## 長崎大学クラシックギター部「アルベヒオス」 第35回定期演奏会を開催

3 29<sup>+</sup>

日時◎3月29日(土) 開場18時/開演18時30分

場所◎チトセピアホール(入場無料)

## 編集後記

創刊号を発行したと思ったら、もう第2号の発行時期。時間の経過が早く感じられます。今回の特集は、「21世紀COE」。将来の大きな飛躍につながるプロジェクトをわかりやすく紹介しています。このような大学の動きをはじめ、皆様に関心の高い内容のものを毎号特集していきたいと考えております。

また、今回から「学長コラム」を連載いたします。地域に開かれた大学として、長崎大学トップから皆様にわかりやすく、親しみのあるメッセージをお届けいたします。同じく、毎号連載の「健康生活」、「明治ジャパネスク」もお楽しみ下さい。

なお、皆様からのアンケートにお応えて、できるだけ文字を大きく、読みやすい構成にいたしました。「CHOHO」について、お気づきの点、ご要望等なんでも結構ですので、お寄せ下さい。

TEL 095-847-1111 / FAX 095-844-2349

E-mail : [www\\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)

■編集・発行◎長崎大学広報委員会(広報誌企画・編集専門委員会)

■発行日◎2003年1月